

パワハラを根絶させよう！ 2022年4月パワハラ防止法、中小企業も適用で ブラック企業アンケート結果をふまえ労働局へ要請



労働局と懇談する県労連の参加者

県労連は十一月十九日、山形労働局を訪れ、八月に公表したブラック企業アンケート結果をふまえ、ハラスメントの根絶や長時間労働の是正に向けた取り組みの強化を求める要請書を、同労働局の小森則行局長に対し提出しました。

二〇二〇年六月～二〇二一年五月までの同アンケートへの回答者は六二人で前年比一・六倍と最多を記録。従業員を怒鳴りつける、気に入らない人に暴言、恫喝して排除する、ハラスメント行為の隠蔽、タイムカードの改ざんなどが行われ、パ

ワハラによる精神疾患も目立ちます。要請はハラスメントの根絶や長時間労働の是正に向け、▼二〇二二年四月から改正労働施策総合推進法の対象となる中小企業への周知徹底▼企業のトップ・幹部社員を対象にどのような言葉や行為がパワハラにあたるかなどを学ぶセミナーの開催▼労働時間管理・上限規制の周知▼離職者数が過度に多い企業の離職率の公表▼正規職員による労働行政の体制拡充、などです。

労働局から、九ヶ月に中小企業を対象に四地域で六回の説明会を開いたり、事業主団体の集まりに説明の時間を得て周知に努めていること、ホ

発行責任者 勝見忍
山形市薬師町2-6-15
TEL 023(615)2172
FAX 023(615)2173
URL: <http://www.yamagataroren.com/>
Email: yamagataroren@yahoo.co.jp

自治体キャラバンすすむ コロナ下、いのちと暮らし、雇用を守り地域に元気を！

山形県労連と各地域労連は十一月二十日より、自治体キャラバンに取り組みんでいます。「国に廃止を求めて」と要請した二〇一五年成立の安

江市は憲法にも触れ「生存権を脅かし…恒久平和を後退させる恐れがある」として「廃止を希求」すると文書で回答しました。政府の「賃上げ税制」で法人税が減税されても中小企業は多くは赤字のためメリットがないことや、非正規雇用が増える中、最低賃金の大幅引き上げと全国一律化、そのための中小企業支援が必



大江町・松田清隆町長と懇談する県労連のメンバー

ームページに「明るい職場応援団」のサイトを掲載し、ハラスメント関係資料をダウンロードできるようにしていること、労働時間管理のガイドラインを示して徹底を促しているなどの回答がありました。

全山形教組など実行委員会による第三回山形県国民教育研究交流集会「未来

をひらく教育のつどい」(植松保信実行委員長)が十一月十四日、山形市内で開催されました。鳥取県情報モラルエデュケーターの今度珠美さんを講師に「一

人は、日常や労働において感情をコントロールしながら生活を送っていると解説。介護・保育・医療・教育等のエッセンシャルサービスは人と人との関係性で成り立っており、感情労働への認識を深めることが求められていると強調されました。

働くもののいのちと健康を守る東北セミナー
オンラインで開催
コロナ禍、エッセンシャルワーカーの働き方を学ぶ
十一月十四日、第十四回
働くもののいのちと健康を守る東北セミナーが、仙台市を主会場にオンラインで開催されました。
「感情(管理)労働」とは、まだ多くの人にとってなじみのない言葉です。人は、日常や労働において感情をコントロールしながら生活を送っていると解説。介護・保育・医療・教育等のエッセンシャルサービスは人と人との関係性で成り立っており、感情労働への認識を深めることが求められていると強調されました。

衆議院選挙——山形選挙区、議席獲得に及ばず 2022年参院選へ 共闘体制の継続・発展を！ 改憲勢力2/3のもと、新たなたたかい強化へ

「山形一区・原田まさひろ氏来訪 野党共闘は間違いではなかった」

一〇月三十一日投開票で
政権交代がかかった衆議院
選挙で、県労連は山形一区
の原田まさひろ氏および二
区の加藤けんいち氏と政策
を合意し推薦してたたかい
ましたが、当選には及ばず

残念な結果となりました。
原田氏は「開票を見守る
会」で、「私の力不足であ
った。しかし、野党統一候
補としてたたかえたことを
誇りに思う」とあいさつし
ました。また、選挙後に事

務所を訪れ県労連の支援に
謝意を述べつつ、「野党共
闘そのものは間違いではな
かった」として引き続きの
奮闘を確認しました。

県労連の基本政策が合意に
至り推薦しました。野党統
一候補とはならなかった三
区の梅木たけしさんとも政
策合意を交わし自主支援と
しました。

と県労連の基本政策の実現
を求めて奮闘する決意です。
自民、公明与党と日本維
新の会の議席が三分の二を
超えたもとで、改憲策動が
一気呵成に強まることは必
至です。自民党は憲法改正
を公約し、防衛力の強化と
軍事費の大幅拡大を打ち出
し、敵基地攻撃態勢整備に
前のめりです。維新も早期
の国民投票の実施をけしか
けています。最大の警戒が
必要であり、職場・地域か
らの運動を展開し、来年七
月の参議院選挙で、改憲勢
力を過半数割れに追い込ま
なければ歴史的に禍根を残
すことになりかねません。

衆院選の結果について 山形県労連が談話を発表

二〇二一年衆議院選挙の
結果について

二〇二一年十一月五日
山形県労働組合総連合
議長 勝見 忍

た。

自民党は、幹事長や現職
大臣等が小選挙区で落選す
るなど議席を減らしたもの
の、単独で絶対安定多数の
二六一議席を確保しました。

率は戦後三番目の低さにと
どまり、自民・公明政治に
対する批判票は、その補完
勢力である維新に流れる結
果となりました。

山形県労連は、六年間の
市民と野党の共闘の到達点、
県内野党と二〇一六年、一
九年の参院選で勝利させた

二人の参議院議員などの
関係構築がすんだ経過も
ふまえ、政権選択選挙とし
ては県労連として初めて本
格的に支援体制を確立して
たたかいに臨みました。野
党統一候補となった一区の
原田まさひろさん、二区の
加藤けんいちさんとの間で

市民連合と四野党が合意
した「共通政策」は県労連
が候補者と合意した基本政
策の基になったものであり、
全労連要求とも合致する画
期的なものです。しかし、
短期間の選挙戦ではこの意
義と内容を広範な国民に届
けることができず、課題
として残りました。私たち
は引き続き、この共通政策

「政治と要求実現、労働
組合のかかわり」などを絶
えず重視し、労働者や地域
住民の要求を実現するため
の職場・地域からの草の根
の日常活動の強化が求めら
れます。労働者・国民の要
求を実現する政治への転換
に向けて、全労連に固く団
結して、組織を強化し職場
と地域を基礎に奮闘するこ
とを表明します。

一〇月三十一日投開票の
第四十九回衆議院選挙は、
九年におよぶ安倍・菅政権
による憲法と立憲主義を破
壊する強権・私物化政治・
新自由主義政策からの転換
に向けて、市民と野党共闘
による政権交代をめざす初
めてのたたかいとなりまし

ませんでしたが、多くの選
挙区で競り勝ち、勝利でき
なかつた選挙区でも接戦に
持ち込めたことは、小選挙
区制の下で、野党共闘があ
ったからこそその成果と言え
ます。しかし、全国の投票

以上